

予算の 主な使い途



安心のまち蒲郡

少子・高齢化社会に対応した 福祉施策の充実

●(仮)ちゅうぶ児童館建設

児童の遊び場として、また、子育て支援の役割も果たす児童健全育成の中核施設として活用する児童館を、市内7中学校区にそれぞれ1館建設することを目標として、現在、6児童館が開館しています。

本年度、最後の中学校区である中部中学校区の児童館について、平成17年4月開館予定として、中央公園内に建設していきます。

●特別養護老人ホームの建設支援

介護保険制度の要介護認定者の増加とともに、社会や家庭環境などの変化により、特別養護老人ホームへの入所希望が多くなっています。

寝たきりの高齢者や要介護度の高い方ができるだけ早く入所できるように、また、入所待機者のニーズに応えるために、五井町地内に平成18年度当初の開設を目指す特別養護老人ホームの建設を支援していきます。

災害に強いまちづくり

●災害ハザードマップ作成

災害による被害を軽減するために、大規模地震をはじめとする自然災害が発生した場合の避難や、災害に備えて事前の防災対策を行うための指針として、必要な防災情報を地図上に明示した災害ハザードマップを作成し、各世帯に配布いたします。

このマップには、東海地震・東南海地震などで予想される震度、津波、液状化あるいは洪水による浸水箇所などの災害危険情報および避難場所、防災施設、緊急時連絡先などが示してあります。

安全で住みよいまちづくり

●防犯対策事業

犯罪防止対策として、昨年、制定した「蒲郡市なくそう犯罪安全なまちづくり推進条例」に基づき、防犯パトロール実施団体への支援、私有地に放置された自動車の処理に関する手続き事務、公共施設などの落書き消去業務を、新たに実施していきます。

防犯パトロール実施団体への支援は、地域住民のみなさんにより、防犯パトロール隊を編成していただいた場合に、活動支援資機材として防犯ブザーなどを配付していくものです。

また、放置自動車の除去や落書きの消去に努めることで、犯罪の起こりにくいまちづくりを進めていきます。

人にやさしいまちづくり

●乳幼児医療費助成の拡大

昨年4月に少子化対策・子育て支援の一環として、乳幼児の福祉増進を図るため、入院医療費の助成を4歳以上6歳未満の乳幼児までに拡大しました。

本年4月からは、通院医療費の

助成を入院医療費と同じ6歳未満児までに拡大します。

こころ豊かな教育の充実

●学校施設の耐震補強および空調設備工事

学校施設の地震災害対策として、中央小学校と蒲郡中学校の校舎、および東部小学校と大塚小学校の体育館の耐震補強を実施します。引き続き、形原小学校と三谷東小学校の校舎、および西部小学校と中央小学校の体育館の実施設計を予定しています。

また、学校2学期制に対応するため、児童生徒の自主的な学習場所の環境整備として、全校図書室に空調設備を整えます。

都市基盤整備など 生活資本の充実

●せせらぎ築造

蒲郡駅南の駅前広場から竹島ふ頭への蒲郡港線、いわゆる50m道路を、「約300m先は海」という景観資源をいかし、整備します。

広幅員の歩道には、「海への誘導」をコンセプトとした「親水性のせせらぎ」を設け、日常の交流・くつろぎの場として散策や休憩